

オオハンゴンソウの分布状況

はじめに

本年は裏磐梯保護官事務所主催のオオハンゴンソウ駆除活動は熱中症問題等で開催中止となりました。

本年は GGG でのオオハンゴンソウ駆除の助成金により『オオハンゴンソウ駆除活動にご協力ください』チラシを作製。農協などを通して磐梯山周辺広範囲に配布できた。

裏磐梯地内の調査については7月10日・8月10日の駆除作業を行ったので、調査の方が8月末となった。7月の暑さと北塩原村でも湯水対策室が設けられるほど雨量が少なく、そのせいかオオハンゴンソウの草丈は場所により、例年よりも低い物もみられた。国・県道路脇1m程はシーズン前に草刈りが行われる。例年その後も脇芽が出てくるが、今年は雨量が少なかったせいか脇芽が伸長しなかった。

五色沼探勝路については五色沼モニタリング調査を参照ください。

調査日

平成30年7月11・23日、8月8・10・20・25・28・29日

調査方法

GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。

猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本以下
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

考察

昨年に引き続き駆除作業した場所で作業となったが効果は実感できるので除草剤を塗布する方法は良いと思われる。道路脇であれば多少の範囲での草刈りは有効だが、私有地等では無理となる。作業に慣れた人だと花芽がなくとも容易に塗布できるので、少ない株などは立ち入って塗布するのも可能ではないだろうか。少なくとも防除はできると考える。広範囲に広がっている小野川部落内・長瀬川流域の秋元地区の駆除については多くの手助けが必要で、現状の人手では無理となる。地域の人を巻き込んでという形もできるが、住民の高齢化がすすんでいるので地域の草刈りという形で進めていく方法を考えたい。夏の炎天下での駆除作業についてはなるべく避けて、来年は花芽が付く以前に塗布するようにしていきたいと思う。

調査者 眞野真理子 立花千秋

駆除作業参加者 立花千秋 鈴木正代 友坂洋子 眞野真理子 伊藤延廣 新井 徹

長岡幸二